

研究実施のお知らせ

2023年10月11日 ver.1.0

研究課題名

プロスタグランジン関連眼周囲症スコア間のアーメド緑内障バルブ成績比較

研究の対象となる方

島根大学医学部附属病院で2018年4月から2023年12月の間に、原発開放隅角緑内障と診断され、緑内障手術（アーメド緑内障バルブ）を受けられた方

研究の目的・意義

緑内障の眼圧下降治療に使用される薬剤には、プロスタグランジン関連眼周囲症（PAP）と呼ばれる眼の周りの変化を起こす薬剤があります。PAPでは、睫毛が伸びる、眼の周りの皮膚の色が変化するといった見た目の変化の他に、眼圧測定が難しくなるといった影響が出ることもあります。島根大学 PAP グレーディングシステム（SU-PAP）では、PAPの程度を0-3の4段階に分類できます。本研究では、SU-PAPで分類したPAPの程度で、アーメド緑内障バルブの眼圧下降成功率に違いがあるかどうかを調査します。本研究により、PAPが緑内障手術に影響するかどうか明らかにする可能性があります。

研究の方法

対象となる患者さんの電子カルテから年齢、性、左右眼、術前後の視力・眼圧・使用している緑内障薬剤、術前視野・屈折度数・水晶体の状態・SU-PAPグレード、術後追加処置・手術を調査します。

データはエクセルのデータシートに記載して集計します。全てのデータは研究対象者の識別が不可能な状態で扱います。収集したデータは、島根大学医学部眼科学講座内の外部から容易にアクセスできないPCに保管します。PCにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限します。

研究に関するデータ及び関連資料（研究に関する手続き資料を含む）は、研究の最終報告をしてから少なくとも10年間保管し、その後消去します。

研究の結果は、眼科関連の学術誌および学会で公表します。

研究責任者は、PAPと関連する薬剤を製造販売する製薬会社から寄付金、講師謝金、研究費を受けていますが、そのことが研究結果に影響する事はありません。本研究に関する利益相反は、島根大学医学部等臨床研究利益相反マネジメント委員会が管理します。

研究の期間

2023年11月15日～2026年12月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。

研究組織

この研究は次の機関が共同で行います。

研究代表者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部附属病院眼科 教授・谷戸正樹

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

利用停止のお申し出は、いつでも可能です。ただし、結果の公表を行った後は、情報を削除することができず、ご要望に沿えません。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部眼科学講座・教授 谷戸正樹

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284